



平成30年度

第4回現役生OB交流会

平成30年2月18日(日)

発行所
陵水会名古屋支部
〒460-0002
名古屋市中区丸の内2丁目20-25
丸の内STビル9階
(株)アルファコンサルティング内
(代表取締役 牧野博和方)
TEL 052-223-2011
発行責任者 松林茂晴 (大19)
印刷所 山菊印刷(株)
☎052-731-1525(代)

名古屋支部では、去る2月18日(日)に「第4回現役生&OB交流会」を開催致しました。

大学関係者皆様のご協力もいただけたおかげで、現役生の皆さんは会場への雰囲気にも馴染んでいたようです。同時に、長時間に渡り、現役生の声に耳を傾けてくださったOBの皆様、本当にありがとうございます。心より、感謝申し上げます。

出席人数は以下の通りです。これまででの最大規模になりました。

現役生…交流会46名、懇親会28名。

教授…交流会2名、懇親会1名。

OB…交流会47名、懇親会27名。合計…交流会95名、懇親会56名。今回、業界説明や講話のような時間を予定していませんでしたが、現役生の皆さんは最初から積極的に行動してくださったようです。会場も今までで一番広い部屋だったため、各自の懇談場所は余裕を持って確保いただけました。

現役生の方に「どんな志望なの?」と尋ねると「金融とメーカー」と商社です」等々…。まだまだ不安をにじませた回答をする方がいたものの、出席者名簿に記載された社名のOBを求めて、会場を積極的に順次回遊する現役生の皆さんの姿は頼もしかったです。

でも、彼らから見ればみな年長のオジさん(やお兄さんお姉さん)ばかり。辺りを見回している学生さんには、スタッフが適宜目的の人を探して誘導させていただきました。

ひとりのOBから長い時間をかけて話を聞いている人。予め考えていたであろう順にOBを探す人。人気の場所は、いつもグループのようになっていて、数人のOBに数人の現役生が入れ替わり立ち代わりする様子で

した。3時間半の時間は、あっという間に過ぎてしまいました。

一方、懇親会では現役生もさることながら、今回の会場で初めて出会ったであろう若手世代OB同士の意気投合している元気が圧巻でした。きつと、会社のこと仕事のこと、サラリーマンってどんなものか? 現役生の皆さんにとっては数年前の自分の姿を想像できる時間になったかもしれません。

今回の特徴としてもう一つ挙げられるのは、若い世代のOB参加が今まで以上にあったことです。60〜65回生の皆さんです。

これは、私たちにとっても大変ありがたいことでした。これからの陵水会活動には、やはり若い人が楽しんで参加できる用意をしなければと、深く感じた次第です。

名古屋支部では「第5回現役生&OB交流会」を、平成30年6月23日(土)に開催予定です。支部総会と同日開催になります。が、時期的には丁度、就活をスタートさせる時期でもあります。更に若い現役生の皆さんのお役に立てば、OBとしてうれしい限りです。

記…横井(大33)



OBと個別面談



OBのブースへ



平成29年度

陵水会名古屋支部総会開催

平成29年6月24日(土)

平成29年度総会は、6月24日(土)11時半より開催されました。

会場のホテルブラ王山には、203名が集いました。

♪遠がすむ 琵琶のみづうみ
♪近江はや 国の真中 正気のあつまるころ

総会司会の棚橋紗夕(大62)さんから開会が宣言されると、

まずは陵水男声合唱団の厳かな歌声が会場に響き渡り、滋賀大学学歌と琵琶湖周航歌の2曲が披露されました。

『総会』の開催にあたり、司会

は幹事長の片岡嘉幸(大25)に引き継がれ「物故者への黙祷」が捧げられました。

そして、この日は第52回滋和戦の開会式に臨むため、学長が途中退席されるとの説明がありました。

「来賓紹介」が済むと、「学長挨拶」として母校の近況を滋賀大学学長の位田隆一氏よりお話しいただきました。

次に、名古屋支部の一年間の

活動が「支部長挨拶」として、支部長松林茂晴氏(大19)より語られました。

議事に入ると、「平成28年度収支報告書(案)」が会計幹事の表野宏和氏(大29)より、監査報告を監事の山内薫氏(大21)より報告され、承認されました。

報告事項では、「平成28年度支部活動報告」が幹事長の片岡嘉幸氏(大25)より、「平成29年度収支予算案の報告(案)」を会計幹事の表野宏和氏(大29)より発表されました。

「開会のことば」が発せられると、若干の準備時間を経て『講演会』となりました。

『講演会』では、「船出した日本初のデータサイエンス学部」と題して、滋賀大学データサイエンス学部学部長の竹村彰通氏より、データサイエンス学部の現状と未来について、詳しくお話しいただきました。

母校のキャンパスで育つ後輩たちの活躍に、一層の期待が高まりました。

休憩を挟んでの『懇親会』では、まず最初に来賓挨拶として

陵水会新理事長の小梶清司氏(大18)より、母校や同窓会の近況についてお話しをいただきました。

続いて、副支部長の山内佳紀氏(大23)進行による新卒会員(大65)6名の自己紹介、出席してくださった現役生(三回生)23名の紹介が済むと、お待ちかねの乾杯。

乾杯の発声は副支部長の米澤正治氏(大25)。「いよいよ懇親会です」と語り始めてユーモラスな昔話が続き、というところで懇親会でございませうとやかな乾杯が済んだあとは、しばしの歓談・会食タイムです。

歓談とはいえ、近況を報告し合ったり名刺交換する人垣の群れがあちらこちらに。昨年に続き、会場中央には現役生や若手OBのテーブルが配されました。

そこでも、若い者同士の交流や通りかかった年配OBが声をかけていくなど、熱気の渦がいつまでも続いています。

それもやっとなと段落つくかと思える頃、榎本尚哉氏(大25・ヨット部)によるエールから恒例の「大合唱」(彦根高商校歌)へ。その熱気も冷めやらぬうちに、来年度への総会幹事引き継ぎ(大30・大31)が執り行われ、副支部長の山内佳紀氏(大23)の音頭で「三本締め」をして、散会となりました。

いえ・散会ではなく、今回は歩いて10分程度の別会場に二次会が用意されていました。希望有志38名は、途中脱退することなく(笑)移動。まだ明るいうちからのしご酒は、またもや熱気を醸し出し、先ほど話足りなかったお互いの報告や挨拶の波がいつまでも続くこととなりました。

この日は、ルブラ王山の同じフロアにて、10時から『第3回現役&OB交流会』も開催されていました。これは、就職支援として名古屋支部が現役生(三回生)へ企画するプログラム。前回総会には第1回、今年2月に第2回を開催。参加する現役生も代替わりし今回で3回目、33名の現役生と28名のOBOGが交流しました。

そして、6月開催の場合は総会と同日開催となるため、希望する現役生は懇親会にもそのまま参加しました。さらに沢山のOB諸氏の体験も、印象に残ったこととして。これからの現役生の就活のお役に立てたことを願うばかりです。

会場でお会いした皆様、ありがとうございました。

たくさん話して、飲んで食べ



て、楽しい一日でした。

30回生の皆さん、一年間お疲れ様でした。

総合司会の棚橋さん、一日お疲れ様でした。

次回平成30年度名古屋支部総会は、次のように開催が決まっております。

【日時】平成30年6月23日(土)16時より

【会場】ホテルキャッスルプラザ

陵水亭懇話会他の、支部の企画にもご参加お待ちしております！

<http://nagoyaryosui.jp/>

学長挨拶

2017年滋賀大の今を紹介します。

昨年、活動していたデータサイエンス教育センターの準備を経て、日本で初めてのデータサイエンス学部が今年4月に発足し6月10日(土)に創設記念式典、記念講演、祝賀会が行われました。

2017年滋賀大の今を紹介します。

昨年、活動していたデータサイエンス教育センターの準備を経て、日本で初めてのデータサイエンス学部が今年4月に発足し6月10日(土)に創設記念式典、記念講演、祝賀会が行われました。



<http://www.shiga-u.ac.jp/2017/06/13/48647/>

データサイエンス学部は、定員100名のところ110名が入学しました。

入試では、前期3・4倍、後期9・3倍。想像よりも人気がありました。

教員数は、4年経てば18

名になる予定です。

学生の男女比は、男子が7割・女子3割でした。

自分は理系だと思っている者が6割、文系だと思っている者が4割でした。

IBMのセミナーを実施したところ、全員が最後まで受講できて学生の能力の高さが証明されました。

以下の5つの柱で「イノベーション構想」を検討中です。

1. 文理融合型の大学
2. グローバル化を進める
3. 研究する大学（研究でも日本のトップクラスであるように、成果を出せるように）
4. 社会との関係重視（企業や自治体との連携をもっと幅広く深めていきたい）
5. 行動力・機動力のある大学（簡素化して、本来の教育や研究に専心できるように。新しいことへの対応や社会の問題解決の提言ができるような大学に）

3つの学部で文理融合型の大学に脱皮し、講義の乗り入

れをして、「データの判るエコノミスト」「データの楽しさを生徒に教えることのできる教師」を輩出していきたいです。また、データサイエンス学部出身者は、「データサイエンス」というスキルを持って活躍できる「ガンマ型人材」です。

「グローバル化」「経済のボーダレス化」を重視して、世界の中で活躍できる若い人を育成するために、次の2つの方法を取ります。

- a) 英語で経済の専門科目の授業をする。半期で5科目、全期で10科目。20単位を英語で。一般教育ではなく、専門科目を英語で日本人向けに講義、それも日本人の経済学部の先生が担当する。学生が経済の中で英語の雰囲気になれて、いつ海外に出ても対応できるように、留学したいと希望するような雰囲気づくりをする。
- b) 英語の自習ソフトを全学的に導入する。経済学部教育学部、付属小学校の先生方にも。いつでもどこでも、スマホでも英語が学べるように。キャン

パスのどこでも英語が聞こえるような環境に。そのことによって、海外からの留学生も増える期待あり。卒業後の海外勤務にも充分に対応できる能力を、学生に身に付けさせてあげたい。

企業の中ではすでにデータを扱う専門者もいるので、大学院を早く作りたいです。通常は4年経たないと大学院を作れないところ、前倒して2年で修士課程、4年で博士課程をとという構想です。滋賀大学の学部だけで修士・博士を経て、日本のデータサイエンスをリードしていけるようになりたいです。

陵水会員の協力もあり、20以上の企業と提携協定を結んでいます。

<https://www.ds.shiga-u.ac.jp/news/>

朝日新聞 2016/09/22 <https://goo.gl/ZbeJdi>

日本経済新聞 2017/04/28 <https://goo.gl/DuWtRN>

あいちユニッセイ同和損保 2017/03/17 <https://goo.gl/Y4QkQx>

PwCあらた基礎研究所 2017/5月Vol.8 <https://goo.gl/vFgyKw>

支部長挨拶

母校は、データサイエンス学部が発足して、文理融合型の大学を目指しています。「きらきら輝く滋賀大学」に、燦然と輝く大学になることを見守りたいです。

村瀬前支部長、吉田前副支部長の布石を受けて、名古屋支部もこの一年間新しい活動



を展開してきました。活動の幅が広がっています。

母校や学生支援として、今日も別室で「現役生&OB交流会」をしています。昨年6月の総会から始めて、今年2月と続き、今回が3回目。学生が約30名、OBが約30名。業界の話や個別相談を情報交換して、学生さんが自分の行く道を見極めて、就活の一助

になれば。この会場の真ん中あたりのテーブルは空いているが、これから23名の学生が懇親会から参加します。大学への協力として、優秀な人材を講師派遣しました。リーダーシップ論へ2名（荒木29、橋本31）。

キャリアガイダンス（女子学生の支援）へ3名（岩田61、朴62、磯村64）。

陵水会計人会の学生説明会（会計人を目指す学生さんへの相談会）へ1名（奥谷14）。ゼミへの特別講師派遣へ1名（土屋54）。

その他、組織力の強化として、陵水亭懇話会を3ヶ月に1度、新入会員歓迎会を4月に開催します。

組織力のためには、財務基盤強化が必要なので会費納入にご協力お願いします。

本部では、トリプル3キャンペーンを実施中です。平成30年度末に会費30000円の納入者を30000人（現在24000+6000増）にします。名古屋が2年間で1000名増員します。

平成29年度陵水会名古屋支部会費納入者一覧表

卒回	氏 名	卒回	氏 名
本14	杉山一雄	大28	長谷芳郎、小島悟、森田貢、牧野博和
本21	杉浦弘	大29	荒木俊雄、今尾文明、酒向良弘、前野正記、山内修一、増田憲彦、田中弘司、兼松賢、手島浩平、石川智里、川津昌作、中山雅幸、舟橋和則
本22	浅野恒彦	大30	石原康行、岸泰志、塚本浩三、小木曾郁也、六車信義、吉川政博、澤木亨弘、落合睦司、原一宏、山下修平、桜井靖久、玉井博之、友松範夫、久保寿一
本23	鈴木高治、七家亘康	大31	荻谷健、内田誠、橋本衛、堀洋一、糸魚川達也、井垣雅文、山田康博、陣内純、中島秀夫、寺西基治、横井宏幸、磯村潔、安藤久、篠田秀一
大1	山田信一、矢野浩一郎、伊藤成美	大32	松坂宏樹、進藤盛之、杉田忠夫、倉田弘継
大2	鷲尾幸三、堀田一幸、伊藤良蔵、鹿野磯夫、木村善雄	大33	城所真男、柴田健、鈴木俊彦、石原弘雄、横井隆幸
大3	森谷馨、井寛英之、岡田一、横関不二男	大34	木野好彦、丹羽宏和、千喜良博、河合信幸、田辺幸雄
大4	河野洋久、祖父江清治、近藤勇雄、石井正樹	大35	赤川忍
大5	近藤実、柴宗平、南野輝久、國島忠雄、清水有	大36	樋口偉久、三澤幸一、松本忠司
大6	伊與正道、石橋政雄、久保昭、岩田修司、青井晴美、七里年昌	大37	日比野厚、渡邊忠守
大7	橋本英一郎、松島利一、河村実鑑、清俊三、高梨勲、長谷川富三、坂清司	大38	伊藤佳師
大8	木村芳夫、鍋野可幸、脇田佳男、栗田憲司、伊藤英夫、吉田正克、中島考宜、吉田宜正、清水明	大41	河島甚一
大9	榊原寛、清水吉男、加藤伸、清水一治、坂東史雄、大西敏隆、杉田嘉暉	大42	長瀬昌彦
大10	鷲見公嗣、浅田為正、上原信彦、間瀬俊彦、小島興一、大野眞一、山本勉	大43	金澤清美、林利典
大11	鶴森昭雄、小林雍正、赤坂郁昌、内藤嘉美、石野正義、浅野幹郎	大44	松田耕平
大12	鬼頭時夫、古田公三、高野悟、田中慶一郎、国立徹、水野浩、榊原昌夫	大45	岩田和彦
大13	角井正澄、酒井盛雄、吉田武久、後藤一而、佐橋孝、加藤宗作、加藤嘉隆、丹下義友、加藤公男、加藤俊二、山田健造、福田勇夫、倉坪和久、緒方榮一、嶋津尊彦、森本正	大46	齊藤正和
大14	青山一道、石原秀夫、市川弘幸、早川匡彦、岡村明光、望月弘隆、奥谷弘和、牧野安宏	大47	天野秀昭
大15	山村慎太郎、杉山皓造、伊藤英雄、長坂重信、吉田稔、村瀬英己、服部憲昌、森下昭造、松坂光八郎	大48	山口貴裕
大16	蜂須賀聡太、竹島毅、戸田功一、佐藤邦男、加藤和男	大49	中澤良次、白井達也
大17	阿多博之、青山政弘	大50	中川雄志、渡邊智子、挽内健児
大18	山下松志、加藤久典、利岡明憲	大54	土屋貴巨、肥田茂之、市川暢啓
大19	安田隆信、加藤満、香名隆夫、外山哲男、山口郁夫、青木隆助、加藤満、松林茂晴	大56	加古渉
大20	天野雅裕、小林耕士、服部寿恵廣、鹿住誠、原田准次、石井和敏、板谷憲治、山口隆、伊藤恵治	大57	土屋敦史
大21	西村俊雄、岩田寿雄、玉田真人、森本良夫、山内薫、村山明司	大58	井上真吾、田中憲一、早川俊太郎
大22	塩瀬和美、松下和久、川地正章、脇田秀昭、鈴木康春、野寺賢二、今井田昭三	大59	山脇薫、中村久美子、服部みな美
大23	木下貞之、小田切純子、木村正文、酒井康行、山本守、山本良英、富田修、三輪直樹、太田孝夫、大山能孝、山内佳紀	大60	深谷緑、山田保弘
大24	後藤佳良、野瀬廣司、棚野誠、森幹宏、吉田誠、近藤一業	大61	大野義浩、小笠原優希、小西郁弥
大25	伊藤廣之、榎本尚哉、児玉正治、新美元博、野々山徳雄、林健一、加藤己信、伊奈伸夫、加藤太伸、村越勝美、遠藤稔、鈴木幸一、片岡嘉幸、三矢誠	大62	酒匂勇氣、石田早紀恵、棚橋紗夕、服部美香
大26	玉置秀樹、山内喜栄、小泉亮一、富田英資、三宅郁夫	大64	後山祐樹
大27	加藤英隆、服田尚史、長谷川吉信、山本吉男、玉腰隆志、伊藤博樹、浜中準史	大65	堀井弘明、小野峻太郎、古池康彰、小淵幹太、田中圭史、納米慶、野田健太郎、堀井弘明
		短7	大島一彦、長谷川信三
		短8	福山昌男
		短24	大塚善人
		院5	米澤正治
		院8	表野宏和

平成30年2月28日現在 合計306名

上記には、本部扱いによる金融機関口座からの自動引落納入者62名を含む。

平成29年度 陵水会名古屋支部 収支報告書(案)

自 平成29年 3 月 1 日
至 平成30年 2 月28日

※ 1 当年度分 前年度分
支部会費：2,000円×309名 348名
本部会費：3,000円×228名（代理集金）
※ 2 本部・支部からの祝儀及び預金利息他

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	353,772	平成29年度総会費用	1,499,339
総会会費収入	1,268,000	会報印刷費	0
支部会費収入	*1 618,000	慶弔交際費	80,000
補助金収入	152,800	会議費	78,120
広告収入	0	諸雑費	208,017
寄付金収入	30,000	次年度繰越金	637,100
雑収入	80,004		
計	2,502,576	計	2,502,576

(単位：円)

平成30年度 陵水会名古屋支部 収支予算報告書(案)

自 平成30年 3 月 1 日
至 平成31年 2 月28日

※ 1 総会費：8,000円（新入会員：3,000円）

※ 2 支部会費：2,000円×325名（見込額）

※ 3 印刷費には発送費も含まれる。

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	637,100	平成30年度総会費用	1,650,000
総会会費収入	*1 1,500,000	会報印刷費	*3 400,000
支部会費収入	*2 650,000	慶弔交際費	70,000
補助金収入	150,000	会議費	80,000
広告収入	120,000	諸雑費	200,000
寄付金収入	10,000	予備費	747,100
雑収入	80,000	次年度繰越金	0
計	3,147,100	計	3,147,100

(単位：円)

陵水会名古屋支部 支部役員

役職名	氏 名	卒業年次	
顧問	岡 田 一	大 3	
〃	吉 田 宜 正	大 8	
〃	小 島 興 一	大 10	
〃	森 本 正	大 13	
〃	村 瀬 英 己	大 15	
支部長	松 林 茂 晴	大 19	
副支部長	山 内 佳 紀	大 23	組織部長
〃	米 澤 正 治	大 25	組織部会
幹事長	片 岡 嘉 幸	大 25	広報部長
副幹事長	今井田 昭 三	大 22	組織部会
〃	小田切 純 子	大 23	組織部会
〃	近 藤 一 菜	大 24	広報部会
〃	榎 本 尚 哉	大 25	広報部会
〃	三 宅 郁 夫	大 26	広報部会
〃	牧 野 博 和	大 28	広報部会
〃	荒 木 俊 雄	大 29	組織部会
〃	塚 本 浩 三	大 30	組織部会
〃	内 田 誠	大 31	組織部会
〃	横 井 隆 幸	大 33	組織部会
〃	齊 藤 正 和	大 46	広報部会
〃	中 川 雄 志	大 50	組織部会
会計幹事	表 野 宏 和	大 29	
監 事	山 内 薫	大 21	

陵水会名古屋支部 本部役員

役職名	氏 名	卒業年次
顧問	岡 田 一	大 3
副理事長	村 瀬 英 己	大 15
理 事	倉 坪 和 久	大 13
〃	松 林 茂 晴	大 19
〃	小 林 耕 二	大 20
代 議 員	小 島 興 一	大 10
〃	長谷川 信 三	短 7
〃	森 本 正	大 13
〃	奥 谷 弘 和	大 14
〃	吉 田 稔	大 15
〃	山 内 薫	大 21
〃	今井田 昭 三	大 22
〃	山 内 佳 紀	大 23
〃	片 岡 嘉 幸	大 25
〃	米 澤 正 治	大 25
〃	牧 野 博 和	大 28
〃	荒 木 俊 雄	大 29

陵水会名古屋支部 卒業年次別 幹事名簿

卒業年次	氏 名	卒業年次	氏 名	卒業年次	氏 名	卒業年次	氏 名
高商 21	杉 浦 弘	大学 16	辻 本 勲	大学 29	表 野 宏 和	大学 38	小田島 永
大学 2	鹿 野 磯 夫	17	築 瀬 悠紀夫	30	落 合 陸 司	39	浅 井 俊 博
3	岡 田 一	18	利 岡 明 憲	30	塚 本 浩 三	40	稲 垣 明 知
4	近 藤 勇 雄	18	山 下 松 志	30	久 田 寿 一	41	山 田 剛
5	清 水 有	19	松 林 茂 晴	31	内 田 誠	42	長 瀬 昌 彦
6	伊 與 正 道	19	山 口 郁 夫	31	堀 洋 一	43	小 林 靖
7	坂 清 司	20	板 谷 憲 治	32	河 辺 昭 宏	45	水 野 俊 之
8	吉 田 正 克	20	鹿 住 誠	32	船 坂 宏 樹	46	齊 藤 正 和
8	脇 田 佳 男	21	山 内 薫	32	目 時 義 通	49	中 澤 良 次
9	大 西 敏 隆	22	今井田 昭 三	33	鈴 木 俊 彦	50	中 川 雄 志
10	大 野 眞 一	23	小田切 純 子	33	菱 田 裕 之	50	挽 内 健 児
10	小 島 興 一	23	山 内 佳 紀	33	横 井 隆 幸	53	稲 山 大 介
短大 7	長谷川 信 三	24	近 藤 一 菜	34	丹 羽 宏 和	54	土 屋 貴 巨
大学 11	内 藤 嘉 美	25	片 岡 嘉 幸	35	赤 川 忍	54	肥 田 茂 之
12	水 野 浩	25	榎 本 尚 哉	35	堀 尾 熱 生	62	小 野 翔
13	倉 坪 和 久	25	米 澤 正 治	36	樋 口 偉 久	62	棚 橋 紗 夕
13	森 本 正	26	三 宅 郁 夫	36	松 本 忠 司	65	堀 井 弘 明
14	石 原 秀 夫	27	伊 藤 博 樹	36	吉 橋 満		
15	村 瀬 英 己	28	牧 野 博 和	37	伊 藤 智 弘		
15	吉 田 稔	29	荒 木 俊 雄	38	伊 藤 裕 人		

第76回名古屋陵水会ゴルフコンペ

平成27年10月12日(木)：瑞陵ゴルフ倶楽部 参加者：12名

優勝	森本 正(大13)	グロス 96	HD 22.8	ネット 73.2
2 位	塩瀬和美(大22)	グロス 96	HD 21.6	ネット 74.4
3 位	稲垣信也(大23)	グロス 92	HD 16.8	ネット 75.2
4 位	清水一治(大09)	グロス 92	HD 15.6	ネット 76.4
5 位	鈴木康春(大22)	グロス 96	HD 19.2	ネット 76.8

第77回名古屋陵水会ゴルフコンペ

平成29年12月2日(土)：双鈴ゴルフクラブ関コース 参加者：12名

優勝	堀 洋一(大31)	グロス 91	HD 20.4	ネット 70.6
2 位	森田正一(大20)	グロス 86	HD 13.2	ネット 72.8
3 位	清水一治(大09)	グロス 85	HD 12.0	ネット 73.0
4 位	酒井盛雄(大13)	グロス 82	HD 8.4	ネット 73.6
5 位	山下松志(大18)	グロス 87	HD 12.0	ネット 75.0

優勝は、15年ぶりの参加となった堀洋一(大31)氏でした。

久しぶりの土曜日開催で、2名の初参加がありました。

[初参加] 森田正一(大20)、杉原隆幸(大24)

第78回名古屋陵水会ゴルフコンペ

平成30年4月19日(木)：東名古屋カントリークラブ 参加者：14名

優勝	清水一治(大09)	グロス 89	HD 16.8	ネット 72.2
2 位	稲垣信也(大23)	グロス 91	HD 16.8	ネット 74.2
3 位	木村芳夫(大08)	グロス 98	HD 21.6	ネット 76.4
4 位	山下松志(大18)	グロス 97	HD 20.4	ネット 76.6
5 位	酒井盛雄(大13)	グロス 105	HD 27.6	ネット 77.4

天候に恵まれ、初の女性参加がある華やかな大会となりました。

次回 開催ご案内

・10月07日(日)：瑞陵ゴルフ倶楽部(註：10/28(日)から変更)

現役世代の参加しやすい日曜日開催です。また、豪華な優勝カップの取りきり戦ですので、多くの参加者を期待しています。

片岡嘉幸(大25)

陵水俳壇

自句自解

大島一彦(短7)

こもの中のぞきたくなる冬牡丹
二月中旬のまだ雪の残る奈良
大和路にある牡丹の花で有名な
長谷寺を訪ねた折り長い石段の
参道脇にまだ蕾の寒牡丹と共に
こもに包まれた冬牡丹が美しく
咲いていました。

青山政弘(大17)

寒暁の漁舟で巡る鳩の海

昨晩秋に同窓の友10人で奥琵琶湖に一泊旅行をしました。寺を廻り、古酒店を探し、翌早朝に旅館の釣り船で琵琶湖に出で竹生島を回遊しました。

片岡嘉幸(大25)

かしこまる未来の婿や小鳥来る
末娘に彼ができ、我が家を訪ねて来ました。彼の横に座っている娘の顔を見たら幸せそうで、待ちに待った渡り鳥が来たような気分です。

柴 宗平(大5)

病癒え五月の風の旨きかな

名前は忘れましたが、五月の風をシャーベットにしたいと云った詩人がいました。

南野輝久(大5)

身と心ひとつのバシユート三人娘

倉坪和久(大13)

復活を先づは仲間如初電話

昨秋に心臓バイパス手術を受けた。幸い成功、経過も佳く回復したが、それを親友たちに知らせて初めて復活を実感できた。

俳句へのお誘い

①俳句を始めませんか。

②言葉の遊びなのですが、日本人が昔から慣れ親しんだ文化です。

③俳句のメリット

①季節の移り変わりに関心が深まり、日々の生活に余裕ができます。

②旅行が楽しくなります。新しいことに関心が深まります。

③長生きできます。女性が先生で、女性メンバーもいて、若返ります。

④句会

毎月第2土曜日13時から御器所の昭和区生涯学習センターで句会を行っています。

⑤参加申し込み

片岡嘉幸(大25)
電話 052-741-3583
メール yokataoka2002@yahoo.co.jp

部活名古屋OB会だより

ヨット部

陵水帆人会名古屋支部ゴルフコンペ開催

平成29年10月7日(土)恒例のゴルフコンペが開催されました。

今回も、米山宏治さん(大11)のホームコース 三重CCを利用していただき11名の参加を得て楽しく競い合いました。

何回やっても難しい三重CCのグリーンに悩まされつつ、天気にも恵まれて好スコアが続出しましたが、浅野寛治さん(大24)がグロス73という驚異的なスコアで優勝。

そのあとのパーティーでは全員の近況を交え、また現役の状況の情報も聞きながら楽しい時を過ごすことができ、次回再会を誓ってお開きとなりました。

年1〜2回開催しています
が、ご多分に漏れず参加者の平均年齢が上がる一方で中堅・若手の参加を心待ちにしています。
榎本尚哉(大25)

今回参加者 米山 宏治(大

11、前田 正男(大12)、丹羽 雅之(大22)、浅野 寛治(大24)、榎本 尚哉(大25)、長野 昌也(大28)、手島 浩平(大29)、増田 憲彦(大29)、浅井 哲哉(大31)、荻谷 健(大31)、牧 幸一(大38)



陵水帆人会名古屋支部総会開催

本年2月17日(土) 第3堀内ビル 百楽において陵水帆人会名古屋支部総会が開催されました。今回はOB14名に加え、現役部員が6名参加があり大変にぎやかな会となりました。

近年部員不足などから低迷が続いていたヨット部でしたが部



榎本尚哉(大25)

員数の回復、OB会による物心両面での支援、現役の頑張りがあって、ようやく低迷脱出の兆しが出てきました。前年は惜しくも水域予選で敗れ久しぶりの全国インカレ出場を逃しましたが、個人戦では全国大会に出場資格を得て活躍する選手も生まれてきました。

現役の力強い言葉に参加者達は自分の過去を振り返りながら久しぶりに胸を熱くすることができました。

今年の現役の活躍と帆人会の盛況を折ってヨット部エール、続いて「見よ満々として」の斉唱で締めくくりました。

、総会終了後、たくさんOBが現役も連れて夜の街に繰り出していったようです。

ラグビー部

陵水ラグークラブ名古屋支部新年会

部OB会)名古屋支部の新年会が、平成30年2月10日(土)17:15から開催されました。場所は中部電力勤務のOBのご尽力により同社東桜会館にて、大学19回(大学65回卒業の老若20名に三神総監督(滋賀大元教授)及び足立OB会長のご出席を頂き総数22名でありました。

三神総監督のご挨拶に続き、最年長の鈴木先輩(大19)の乾杯のご発声により懇親会がスタートしました。当初は席の近い方を中心に懇談していましたが、杉田名古屋支部長(大32)が持参された多年度にわたるOB総会の集合写真が回覧され、自分の容姿の変遷や同期あるいは在学時前後4年間の先輩や後輩の姿をみつけ、なつかしさがこみあげ昔話に花が咲くと同時に、そこかしこで老若入り乱れ乾杯と談笑が 뜨つきました。

なごやかに会が進行するなか、参加者ひとりひとりが近況や在学時の思い出などを披露し、年代毎にさまざまな出来事があったことを知る機会となり

ました。途中現役チームの監督を引き受けておられる山田さん(大31)からチームの現況などの報告もあり、現役の活躍に対する各自の熱い思い再認識しました。

瞬く間に時間が経過し、最後に足立会長から今年のOB総会の日程(5月20日(日))や現役の春の試合予定の報告とともに、現役への支援のひとつである「ラグビー部運営基金」への寄付要請があり、佳境のうちに中締め散会となりました。

あいにくの雨のなか二次会にむかうグループもありましたが、年に数回開催される名古屋支部懇親会での次回の再会を約し各自帰路につきました。(本新年会は20名程の出席でありましたが、次回以降懇親会にも多数の出席をお願いします。

近藤 一菜(大24)



ボート部

ボート部新年会開催

陵水艇友会中部支部では、去年平成30年1月27日に、陵水艇友会・高田会長、北居前会長、滋賀大学ボート部・井上監督をお迎えし、総勢20名の方にご参加いただき、中部支部総会および懇親会を開催いたしました。当日は滋賀大学現役3回生の主舵・佐伯さん、副将・川村さんにもご参加いただき、活動状況を報告いただきました。OB、OGとして現役活動を応援してゆくことを全員で確認し、最後は部歌で会を締めました。今後の現役の方々の活躍を楽しみにしています。

マスターズレガッタでアベック優勝!

10月15日(日)に東郷町の愛知池漕艇場で開催された第27回マスターズレガッタに陵水艇友会中部として年齢別の2カテゴリーに出場し、それぞれのカテゴリーで優勝を飾りました。小雨には降られましたが春先からの乗艇練習の成果が十分に発揮できたかと思えます。この大会は愛知県ボート協会の主催で今年

で27回め。今でこそ全日本マスターズレガッタが行われていますが、第1回はここ愛知池で行われ、マスターズレガッタでは草分け的な大会です。陵水艇友会としても5年前の第22回に初めて参加して以来、毎回いずれかのカテゴリーで優勝しています。2つのカテゴリーでアベック優勝したのは2年連続、今後をもっとたくさんのカテゴリーで優勝を狙いたいものです。



サッカー部

【平成30年サッカー部名古屋地区新年会】

平成30年2月24日に名古屋駅の居酒屋で、名古屋地区サッカー部の新年会が行われ17名が参加しました。上は20回卒の藤田さんから下は51回卒1名、50回卒3名というその差30年という幅広い年代が集まり、大変盛り上がりしました。さらに現役が2名駆けつけてくれました。林和輝さん(2回生)と佐川朋美さん(2回生マネージャー)です。現役

が参加してくれることはOBとしては大変嬉しく、現在の滋賀大学の状況も知ることができて有意義でした。OBは1つの会社でずっと働いている人、何度か転職している人、いろいろな人生を歩んでいる人が集まっているため、自分と違う人生の選択をしている人と話ができるのも利害関係の無い、滋賀大学サッカー部という繋がりであるからでしょう。これからも新しい卒業生にどんどん参加してもらい、盛り上がりが出ていくと思います。

三宅郁夫(大26回)



陵水艇友会ナックルC



陵水艇友会ナックルE



企業同窓会だより

名鉄グループ陵水会を開催

(平成30年3月16日) 開催報告

去る3月16日、名鉄グランドホテルの北京宮廷料理『酒梅舫(かんめいほう)』におきまして、名鉄グループに在籍する現役社員とOBによる「名鉄グループ陵水会」の懇親会が開催されました。この「名鉄グループ陵水会」は、現役32名とOB23名から組織されており、年1回の開催により現役とOBの懇親を深めています。

当日はOBが11名、現役が18名の計29名が出席し、名鉄協商(株)常務取締役の片岡嘉幸(大25回)会長の挨拶のあと、OBの桑山邦彦(大16回)先輩の乾杯で開会しました。その後、初参加となった平成29年度の新入社員である、(株)名鉄レストランの小淵幹太(大65回)さんと名鉄タクシーホールディングス(株)の鈴木翔太(大65回)さんが紹介されました。OBの先輩諸氏から直接ご指導をいただける貴重な機会ということで、会場では現役社員が叱咤激励されている様子が散見されました。会は、(株)ピタコラム常務取締役の牧伸

夫(大26回)さんによる中締めにより、来年もまた集まることを誓いながら、盛会のうちに終わりました。

記：長野由路(大45回)



同期会だより

大学25回同期会

本年2月3日、名鉄グランドホテル酒梅舫において、名古屋支部大学25回同期会が開催され、過去最高の14名の参加がありました。6年前の総会幹事年度に参集した仲間ですが、その人数が減ることなくむしろ増えていることに同期の結束の固さを感じました。恒例となりまし



た近況報告コーナーでは、加藤己信氏が5月から世界一周100日間の1人旅に出かけると発表し注目を集め、奥様からあっさり許可が出たのがショックだったと皆の笑いを誘いました。このような和気あいあいの雰囲気の中、支部総会で再開を誓い、閉会した。

片岡嘉幸(大25)

新入会員歓迎会

去る平成29年4月28日(金)、陵水会名古屋支部では初めての試みとして、今年就職された新入会員(大65)を対象に「新入会員歓迎会」を開催しました。参加者は新入会員13名を含め、総勢31名でした。

多くの新入会員が新人研修等の為、19時開始のところ30分遅れの開催に！片岡幹事長(大25)の司会のもと、松林支部長(大19)の歓迎の挨拶、前支部長の村瀬氏(大15)の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。村瀬氏は、陵水会本部「若手会員増対対策委員会」の委員長としてもご尽力されています。

当初、緊張していた新入会員もお酒が入るにつれ、同期生や先輩諸氏と歓談し、交流を深めたようです。場もなごんできた頃には、今回の企画に際し、多くの新入会員参加の声掛けをして頂いた土屋氏(大54)の司会で、新入会員の自己紹介が始まりました。まだ配属も決まっていないこの時期、これからの仕事に期待と不安に胸を躍らせながらの自己紹介に、フレッシュマンとしての初々しさが感じられました。

れました。

また、この新入会員歓迎会で大65回生の幹事も選出されました。今後は支部総会や陵水懇話会等の支部活動に積極的に参加され、「同期生とのつながり(横)」や「先輩OB・OGとのつながり(縦)」を通じてワークライフバランスを保ち、頼もしい社会人になって頂きたいと思えます。 山内佳紀(大23)

不動産建設部会活動報告

2017年度 陵水会不動産建設部会(名古屋)活動報告
2018年1月19日

陵水会不動産建設部会(名古屋)部会長 武林良行

当部会は、2016年より今回立ち上げにかかわったチャーターメンバーが、それぞれ独自に、不動産建設ビジネスに携わる滋賀大学卒業生の親睦と情報交換による相互研鑽ができる有効なネットワークを作りたという活動を開始、部会の立ち上げがなされました。

I 部会の立ち上げの背景

①東海地区の不動産市場に置いては、名城大学はじめ名古屋のほとんどの私立大学で不動産業のOB会が組織され、さ

らにその連合大会が開催されるなど、大学卒業生人脈のネットワークの活動が盛んになっている。

②特に名古屋は人脈が公私にわたり重要視される文化がある。

③大阪地区の陵水会ではすでに不動産部会が立ち上がり、非常に大きな活動を展開している。(チャーターメンバー)

・パナホーム株式会社

・株式会社 長谷工コーポレーション

・株式会社 大倉

・川津商事株式会社

II 部会基本理念

不動産・建設の概念は、市場における「市」で行われあらゆる商いを普遍化した「場」での生産活動である。滋賀大学でもに学んだ英知をもって「場」を創造し、社会厚生の実現に貢献する。

III 部会の活動方針

不動産・建設ビジネスに携わる滋賀大学卒業生の親睦と情報交換による相互研鑽ができる有効なネットワークづくりを目指すし、その活動を通じて名古屋陵水会に貢献することを目指す。

IV 部会組織

部会長・武林良行(パナホーム

株式会社)

幹事長・挽内健児(株式会社長谷工コーポレーション)

幹事団・パナホーム株式会社、株式会社長谷工コーポレーション、

株式会社 大倉、川津商事株式会社

V 2017年度 活動状況

2017年2月 6日(月)第1回部会開催 参加者近況報告、依頼事項報告

2017年5月24日(水)第2回部会開催 参加者近況報告、依頼事項報告 12名参加

2017年8月4日(金)第3回部会開催 参加者近況報告、依頼事項報告

2017年12月7日(木)第4回部会開催 参加者近況報告、依頼事項報告 13名参加

VI 参加メンバー

メンバー 22名、参加企業 16社(2017年12月現在)

VII 執行予算

予算なし…各部会参加費5000円/人 程度で実施

忘年会開催

陵水会不動産建設部会(名古屋)の忘年会が12月7日(金曜日)に開催されました。当日は、おなじみのひざを突き合わす親近

感のある居酒屋が会場になりました。

名鉄協商の片岡嘉幸(大25)先輩の乾杯に続き、年次報告や各位からの現況報告、依頼事項が報告されました。

この部会は、若い方が多く、学生時代の昔の思い出以上に、現在の業界の動向の情報交換が非常に盛り上がる特徴があります。今回も週末の仕事が忙しく、遅れて参加される方が多いのもその一つの特徴です。又独身の方も多く「だれだれ先輩の娘さんどうだ」と言った具合です。今回勉強になったのは、大学「何回」卒と言った卒業回数がすぐに言える人は50歳前後以上で、若い人は自分が何回卒か意識しておられない方が多いことを知りました。男女を問わず若い方大歓迎です。

現在は、若い司法書士、鑑定士の士業の方々、そして大手企業の年金基金のアセットマネージャーの方も参加されるようになり、業種の幅は次第に広がってきております。

不動産は、市場の「市(いち)」で行われるので、あらゆる商業・投資・消費活動を普遍化した「場」を意味します。

不動産は、あらゆる商業、投資、消費活動を受け入れます。ご興味のある方は、ぜひ参加してください。

随時開催告知させていただきます。

文責…部会幹事団 川津昌作(大29)

リーダーシップ論

「リーダーシップ論」で講義

陵水協力講義「リーダーシップ論」が平成29年度も実施され、卒業生による全7回の講義のうち、名古屋支部から片岡嘉幸さん(大25)、榎本尚哉(大25)が講師を務めました。

榎本は11月2日「どうすればヒト・組織をリードできるのだろうか」、片岡さんは11月16日「リーダーシップそれは相手を思いやる心」の題目で大学正課として90分一コマずつの講義を行いました。

約300名の学生が出席し、熱心に聴講する姿は自分たちの学生時代を振り返ると大変驚きです。

今回は新しい試みとして、各講義のあと追加の一コマで学生とOBの交流会が行われました。

た。講師となったOBのほかに数名のOBが参加し、学生と質疑応答など行い、講義とは違った内容、接点を持って、学生の陵水会に対する認識、卒業後の参加意識に効果があるのではないかと思います。

講義の準備、講義後の提出レポート採点など慣れない作業もありますが、後輩を思う気持ちでクリアし、終わった後は充実感を感じることができました。

榎本尚哉(大25回)

陵水亭懇話会

第12回陵水亭懇話会

2017年8月25日(金)、第12回陵水亭懇話会が開催されました。

今回の会場も太閤本店伏見店で、20名が集いました。

ミニ講演会の演題は「俳句の楽しみかた・・・56才から7年間、俳句の会に参加して」。

講師は、片岡嘉幸幹事長(大25)。まだまだ学んでいる途上にあるとご自身では言われていましたが、講師の約半分の年齢でしかない33歳の私でも、俳句って面白そうという感想を持ちました。

58歳になられたときに作られた自分史の一句が印象的だったので、ご紹介させていただきま

す。

「いつからか家族揃わぬ初詣」俳句を作ることはハードルが高く、ただただ難しいという印象でしたが、今回の講演を聞いて変わりました。まずは作ってみて、慣れてきたら少しひねってみる。

俳句はとても短い。本題とは少し離れますが、いかに短い言葉で相手に分かりやすく伝えるか。仕事で決裁者である上席や、関係者向けに毎日作る資料と通じるものがあり、そういった面でも勉強になりました。

その後の懇親会。現役世代からすると「営業日数が少なく繁忙ながら、夏休み最後の週末で家族サービス」といった理由で、参加人数は普段より若干少なかったようです。それだけに、各自の深い思い出話が出てきて、大変な盛り上がりとなりました。

記…土屋貴巨(大54、2006年卒)

第13回陵水亭懇話会

第13回陵水亭懇話会が、11月24日(金)19時より太閤本店伏見店

にて開催されました。

参加者は20名でした。

講師は、(有)クリエイト鳩(きゅう)営業部長の中川雄志(大50)氏。演題は、「元財閥系不動産会社営業マンがお伝えする「損しない不動産取引」でした。

中川氏は卒業後、住友不動産販売(株)に入社し、大阪で約500件の不動産取引を仲介され、且26年10月に愛知県西尾市の(有)クリエイト鳩に入社、お父様と共に不動産売買や賃貸の仲介、賃貸管理、資産活用アドバイザーに従事されています。

まず最初は、不動産購入にかかる諸費用の解説でした。「印紙代」の初歩的なお話から、不動産仲介業界の慣行や知っておくとお得な情報を織り交ぜて、「仲介手数料」「法務局への登記費用」「借入金金融機関へのローン保証料やローン事務手数料」「固定資産税の精算金」「不動産取得税」「火災保険や地震保険」等々の内容。都市銀行ネットバンクキングのお得な使い方や、税金関係の知らない損をする情報には、皆さん熱心にメモを取っていました。

次の不動産売却についても諸

費用の説明だけでなく、「隣地と境界が不明な時」は測量が必要なことや実際の体験談、「購入時の契約書や領収書」を保管しておく必要性、不動産を自分で使用しなくなった時に「空き家のまま放置するリスク」などを教えていただきました。

最後には、「相続税の対策として有効な手段はないか」「隣地との境界で注意すべきこと」「空き家の定義」など多くの質問があり、丁寧にご回答いただきました。

加えて、西山博基（大64）氏より「不動産建設部会」についてご紹介がありました。『ゼネコン、不動産、銀行のメンバーの会ですが、「資産運用している方」「不動産ビジネスへ新規参画したい方」にも広く参加を求めている、メルマガ（*）でもご案内の通り12/7（木）に忘年会を開催するので、関心ある方は是非ご出席下さい。』とのことでした。

参考（*）メルマガ[2017/11/15 Vol.046]

講義の後は、副支部長の山内佳紀（大23）氏の乾杯で、約1時間半に渡って懇親を深めました。

記：目時義通（大32）



第14回陵水亭懇話会

第14回陵水亭懇話会が1月26日（金）19時より、太閤本店伏見店で18名が参加し開催されました。講師は、（株）三菱東京UFJ銀行経営企画部の中村健彦氏（大38）。演題は『東海地域経済の構造と足元の動向』でした。最初は『東海地域経済の概観』の説明から始まりました。東海地域は自動車や航空機などの「製造業主体の地域」であることを、具体的な数字で示し

ていただきました。「圧倒的な輸出超過」で、輸出国の1位はやはり米国。因みに「名古屋税関の貿易収支」も2016年で8兆6千億円の輸出超過で、超過額は全国でトップです。次に『足元の景気動向』について。

景気は全国も東海も改善基調で、企業の生産活動も「リーマン・ショック以降の最高水準域」で推移しています。企業業績も改善が続いており、設備投資も製造業・非製造業共に旺盛。東海地域の有効求人倍率は「愛知で約1.9倍」とリーマン・ショック以降の最高水準で、個人消費も堅調に推移しています。

最後に中部財界の問題意識としての『中長期的な課題』です。

「2027年のリニア開業」まであと9年。リニアは10、16兆円の「大きな経済効果」を享受できるチャンスであり、一方、東京に吸い取



られる「ストロー現象」や自動車のEV化などで「モノづくりの強み後退」などの危機感もあります。この危機感を乗り越えるためには、中部圏として目指す姿と課題を整理し、「地域が一丸となって取り組むこと」が必要とのことで、説明は終了しました。

講義の後は、副支部長の山内佳紀（大23）氏の乾杯で、約1時間半にわたって懇親を深めました。

記：目時義通（大32）

予 告

平成30年度 陵水会名古屋支部総会
平成30年6月23日（土） 16時より
場所：ホテルキャッスルプラザ

【編集後記】

「原稿募集及びご意見を」皆様の原稿をお待ちしています。※テーマ自由

編集担当 片岡嘉幸（大25）

TEL 052-1741-3583
FAX 052-1741-3583
E-mail yokataoka2002@yahoo.co.jp